4月6日 水曜日 5日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話(代表)京橋(56)8646

内外タイムス THE NAIGAI TIMES

第3058号

天気予報 今晩 北の風晴 明日 北の風、日中南の風のち曇ったり

あすの暦 4月6日(水) 旧3月14日 月齢13.0 日出5.22 日入6.06 月出5.17 月入4.21 満潮 前4.35 後5.00 干潮 前10.50 後11.05(大潮)

4版

ソ連難色を示す

日ソ ニューヨーク交渉に

事実上の拒否? ゆうべ松本氏に回答

政府は二月廿三日、日ソ国交正常化の交渉場所をニューヨークとすることを[illegible]が、これに対するソ連側の回答は四日[illegible]交渉全権に内定している松本俊一氏に手交された[illegible]外相は[illegible]四十分から首相官邸で開かれた閣議にこのことを簡単に報告した、閣議室の隣の大臣応接室には松本俊一氏が待機し、閣議終了後、松本氏は首相、外相に回答内容を詳細に説明した

回答内容はまだ明らかにされていないが、権威筋によれば、ソ連側は日本の希望に反し交渉地をニューヨークとすることに難色を示し、事実上拒否する態度に出たものといわれ、交渉地をきめるための予備交渉もかなり難航を予想されるに至った

政府はさきに重光外相の渡米問題でワシントン政府の拒否にあい、さらに現内閣の一枚看板である対ソ交渉でも難関に直面したわけで、政府、民主党首脳の憂色は濃いようである

松本俊一氏

外相から正式報告なし 根本官房長官談

[illegible]連との関係については公式にどういうことはできない段階[illegible]考えていない

重光訪米

重ねて申入れか

ここ一、二週間内に 在米日本外交筋談

【ワシントン四日発=共同】ワシントンの日本側外交筋では、重光外相のワシントン訪問の申入れに対するダレス米国務長官の延期回答は、適当な時期に日米会談を行いたいという「招請状」の意味もあると解釈しており、日本政府が改めて会談の内容、時期を選び近く申入れを行うだろう、アイゼンハワー大統領とダレス国務長官が六月末まで多忙なので、その後にできるだけ早く会談を実現するためここ一、二週間以内に日本から再度申入れが行われるものとみている

とみられており、ワシントン官辺筋も防衛分担金交渉はアリソン駐日大使と日本政府の間でつづけるべきだと強調している、このほかダレス長官が重光外相の訪米を断った理由にはつぎのようなものがある

米国の対日政策、とくに日本が再軍備の増加をちゅうちょしていることについて再検討が行われていること、この対日政策の再検討は日本としては米国の防衛分担金にたいする態度と不安定な経済情勢によって防衛力増強の責任を果すことができないでいると主張する日本にたいして、米国は少し圧力をかけすぎているのではないかどういう見解が生れたためである

早くても八月すぎ 米国務省の意向

【ワシントン四日発ロイター=共同】アメリカ政府およびワシントンの日本大使館当局者は四日、重光外相とダレス米国務長官の会談がどんなに早くても八月までに開かれることはないものとみている

権威筋によればダレス長官が重光[illegible]

"日本軽視、意味せず"

米国務省 重光訪米延期で声明

【ワシントン四日発=共同】米国務省スポークスマンは四日、記者会見で重光外相のワシントン訪問申入れにたいするダレス米国務長官の会談延期回答は、日本政府への侮辱と解されるべきではないと声明した、この声明は「ダレス回答は東京では日本にたいする侮辱と報道されているが」との質問に答えて行われたものである

同スポークスマンはさらに次のような説明を行った

一、ダレス長官は会談の延期を回答したさい近い将来十分な準備のうえ会談をワシントンで進められ[illegible]ている、その時期はまだ決まっていない

一、この種の会談には国務省だけではなく米側関係各省との連絡を要するので延期となったものであり重光外相を軽視しているという意味ではない

一、ダレス長官が東京を訪問して会談を行う可能性はうすいと思う

一方権威筋によれば国務省当局は重光外相の訪米目的が日米間の基本的了解にあるのならば、アイゼンハワー米大統領、ダレス長官は不承だが、一応これを受諾しようという意向であったが、防衛分担金削減のためと判ったので態度内定が逆転したとのことである

野党、作戦を協議

あすの外務委に備え

左派社会党は五日午前十一時廿分から院内で在京幹部会をひらき、六日の衆院外務委員会に鳩山首相、重光外相、杉原防衛庁長官、根本官房長官の出席を求め、重光外相の渡米拒否問題について対策を協議した

また自由党は同日午後一時すぎから院内控室で国会対策委員、政調会役員、外交調査会委員、衆院外務委員などの連合打合せ会をひらき、六日に開会を要求している衆院外務委対策について協議した

八日までに妥結?

防衛分担金交渉 蔵相閣議で報告

[illegible]

定例閣議 五日の定例閣議は午前十時半から首相官邸で全閣僚が出席して開[illegible]一万田蔵相から卅年[illegible]の今後の進め方につ[illegible]日から蔵相と各大臣[illegible]衡し八日の閣議で総[illegible]て決めたいと説明、各相もこれを了承した、ついで前日の次官会議で内定した一般案件を正式に決定し、同十一時廿分散会した

十二項目の要望書を提出 総評幹部、首相らと会見

鳩山首相と総評との会見は五日十一時五十分首相官邸で行われた、政府側から鳩山首相をはじめ西田労相、川崎厚相、根本官房長官、田中官房副長官、総評側から藤田議長、高野事務局長ら常任幹事代表約十名が出席し、総評から賃金ストップ政策の廃止、原水爆兵器の国内貯蔵反対などの十二項目の要望書を提出、政府側の見解をただした

経済懇談会

政府は五日午後、経済懇談会を開き、一万田蔵相から本年度本予算の編成方針および大蔵省原案を説明して了解をもとめた、また鉄道運賃、電気料金、競輪・競馬の規制問題などを関係閣僚から説明した

杉原長官、テイラー司令官訪問

杉原防衛庁長官は五日午前九時東京市ヶ谷の米極東軍司令部にテイラー新司令官を訪問、同司令官着任のあいさつに対する答礼を行った

松本氏ら代表出発 アジア諸国会議へ

政治宗教文化などアジアに関係した共通の問題を討議するアジア諸国会議は六日から五日間インドのニューデリーで開かれるが松本治一郎団長(参院議員)はじめ参院議員高良とみ女史(平和関係)作家火野葦平氏(文化関係)ら各界の代表十九名は五日午前六時十分羽田発のインド航空機で出発した

チャーチル英首相は四日首相官邸にエリザベス女王夫妻を招き夕食会を催した、写真は女王(右から二人目)を出迎えたチャーチル首相(中央)右はチャーチル夫人(UP=共同電送)

英首相、お別れの宴

女王夫妻をご招待

【ロンドン四日発UP=共同】[illegible]夫妻を招き夕食会を催す、次いで同首相は五日正午、最後の閣議を[illegible]チャーチル首相がそのさい後継首班にイーデン外相を推すことは確[illegible]

中共、元幹部を処分

反党連盟事件

【北京放送四日=共同】中国共産党五中全会は四日中央委員政治局員の補欠選挙を行い林彪、鄧小平両氏を中央委政治局員に選出した

北京四日発新華社電で、中共全国代表会議が高崗、饒漱石の両氏の除名を決議したことが報道されたが、これと共に両氏の反党連盟活動に参加したかどで同明(元華東行政委員会委員)張明遠(元東北行政委員会副主席)張秀山(元東北行政委人民監察委員会主任)趙徳尊(元黒竜江政府主席)馬洪(元国家計画委員会委員)郭峯、陳伯衆らが中共政治局から処分されたことが明らかになった(共同)

安保理の緊急会議を要請 イスラエル

【ニューヨーク四日発UP=共同】イスラエルの国連代表団は四日、国連安全保障理事会のソボレフ議長(ソ連)にたいし緊急会議を開いて最近エジプト、イスラエル国境で起った一連の事件をとりあげるよう要請した

パキスタン参加 トルコ・イラク条約に

【カラチ四日発ロイター=共同】当局筋が四日明らかにしたところによればパキスタン政府はトルコ・イラク相互防衛条約にたいする参加を求めたトルコ・イラク両国の申し出を受諾することに決めた

ジグザグコース

ガリガリの政党

知事をはじめ各都道府県議会の選挙が始まった 各政党がこの地方選挙を自分の足固めとして重視しているのは了解できるが、そのやり方について腑に落ちぬ点が二三ある。

第一は三選問題だ。知事選で保守派は東京、大阪、両社は北海道、長野ではあっさり三選をねらっているが、神奈川の内山、大阪の赤間知事の三選では民主党内でさえ賛否両論があって、分裂騒ぎを起している。

三選がいいか悪いかの議論は学者に委せるが、「三選反対」は革新政党の主張だ。その主張が、ある県では実行され、ある県では無視されるのでは、いい加減な看板だということになる。保守派に対しても同じ非難が成り立つ。これでは三選問題は、自分に有利な人物なら賛成、不利なら反対、という身勝手な御都合主義に過ぎないことになってしまう。

そういう御都合主義が外にまだある。県名は避けるが、ある県では民主と両社が組んで、自由党候補に対立し、ある県では両社の一方が保守派と共同して、他の社党候補を攻め立てる乱戦振りを見せている。こういう共同戦線の張り方は、われわれには理解できぬ。保守、革新各派が全部推すというほどの立派な人物ならば、超党派的な人物のはずだから民、自、両社の四派のうち一派が対立候補を出すのはおかしい。こういう候補の選び方も矢張り、各派の自分本位の主義から割り出されたものだ。

両者は特別国会後には統一を[illegible]そのために地方選挙は保守対革新[illegible]だ、と称して来た。ところが先き[illegible]たような、両社が二つに別れて、[illegible]の力を借りて他を痛めようという両社の共同闘争も、統一もへちまではないか。

地方自治体に政党色を強く[illegible]避けるべきだ、と各政党はよく口[illegible]ところが知事選はその逆だ。口頭[illegible]ぎない。それもこれもすべて政党[illegible]御都合主義であり、言行に筋が[illegible]らぬ証拠だ。(弘)

粋人酔筆

今様賢夫人

池田林儀

[illegible]自分で精算所に行って、汽車賃[illegible]とり、それからグランド・ホ[illegible]泊、翌日は東京沼袋の新宅に[illegible]さんはT水産会社々長の秘書役[illegible]その社長というのが派手好きで[illegible]バレーなどで大もてであった。[illegible]お気に入りで、どこへでも連[illegible]邦子夫人はそれが気にいらなか[illegible]の翌日、邦子夫人が会社に社長[illegible]玄さんがなだめたが肯かず、[illegible]「社長さん、玄は今月給計[illegible]超過勤務です。この袋には超過[illegible]入っておりません」といって[illegible]出した。

玄さんの自宅には、会社出入りの納品屋からいろいろなものを贈って来る。月末になると邦子夫人はその品々をリヤカーに積み、ちゃんと目録を付けて社長のもとに送りとどけてやる。腐った生魚などは、セロファンの袋につめてある。邦子夫人にいわせると、「こんなものは玄にくれるのではなく、会社の名にくれるのだ」そうな。

玄さんが、邦子夫人の父の経営するB化学工業会社の専務になったとき、邦子夫人は、「玄さん、勤務時間を厳守しなさい。超過勤務手当をたんまりやりなさい。それでいいのよ。うちの会社には社用族はいないのだから」といった。

玄さんの会社には、「社交回覧板」という秘密旬刊紙がある。旅館、料理店、喫茶店、待合、酒店、キャバレーなど大小の別なく明記してあり、そこへ行った社員と客の名も明記してある。細かいのは計算書で、どの店は安い、どの店は高いが一見してわかる。この回覧板に報告できないようなのは、自腹ということになる。なるほど、社用族がいないわけである。この回覧板の編集責任者は、経理部長たる邦子夫人である。しかも、この経理部長は会社には顔を見せず陰の人である。現場の部長は邦子夫人の弟である。

邦子夫人は子沢山である。廿六歳の東大工科出の長男を頭に総勢九人いる夫人が四十歳のときであった。弟の現場部長に玄さんから一杯差上げたいから来てくれとのことで、出かけて行った。夏のことで、暑いから物干しでやろうということであった。物干しに花ゴザを敷いてチャブ台を据え、ラジオなど持ち出しての歓待ぶりであった。

星がキラキラ光っていた。玄さんも夫人も夫人の弟さんも浴衣がけだった。物干しには日章旗が風がないままダラリぶら下っていた。ビールをぐいぐいやっている間に、いい気持ちになって来た。弟は、

「ときに、この日の丸はどうしたのかね」

ときいてみた。邦子夫人は、

「気がつきましたね。それなんですよ。今日あなたをよんだのは――」

と、ちょっとシナをつくって、

「私たち結婚してから今日まで、この物干しにオシメがかかっていなかったのは今日がはじめてなんですの、今日はそのお祝い」

とコップをとりあげた。

ところが、オシメはそれがおしまいではなかった。そのあくる年、邦子夫人は九番目の附子さんを生んだのである。

玄さんは今から三年前に、B会社の社長になった。

東京株式仲値 □新株落△配当落(5日前場終値)							
特定銘柄		[illegible]	71	旭化成	300	カボン	51
東海上	281	日本曹	69	山陽パ	97	三井物	140
[illegible]船	61	[illegible]電化	—	日本パ	89	第一物	98
新三菱	88	三菱造	74	[illegible]パ	94	白木屋	240
日清紡	277	三井造	106	東北パ	110	高島屋	79
味の素	285	三菱重	63	大東紡	92	日活	81
三越	274	石川重	96	商船	54	松竹	190
平和不	198	[illegible]工	140	三井船	52	東宝	1250
[illegible]		東洋ベ	112	飯野海	44	大映	171
三井金	112	[illegible]		西武	—	日本粉	117
三菱鉱	94	日立造	44	藤田興	224	日清粉	146
日鉱	84	[illegible]	45	東京ガ	63	日本ビ	155
住友金	104	[illegible]	28	東電	427	朝日ビ	167
三菱金	45	古河電	71	関電	427	キリン	196
古河鉱	70	日立製	72	日[illegible]	1830	宝酒造	76
同和鉱	118	[illegible]	68	東[illegible]	78	台糖	187
住友炭	65	三菱電	92	三井銀	—	明糖	101
三井山	62	小松	68	富士銀	85	甜菜糖	101
北海炭	56	日本光	154	日証金	94	野田醤	92
東邦亜	66	キヤノ	143	安田火	113	森永	260
帝石	63	東京光	—	大正海	90	明菓	156
日石	89	東洋紡	139	住友海	81	日水産	75
昭和石	88	[illegible]紡	129	千代田	75	昭和産	79
[illegible]	146	富士紡	113	鋼管	69	東洋醸	91
三菱石	96	大日紡	82	日製鋼	76	合同酒	92
大協石	106	日東紡	62	八幡鉄	51	三栄	75
日東化	68	[illegible]倉	35	富士鉄	49	大阪糖	139
日[illegible]化	71	呉羽紡	—	神戸鋼	62	王子紙	190
三井化	86	東邦レ	104	日特鋼	140	十条紙	203
三菱化	99	[illegible]	65	日[illegible]金	167	本州紙	85
昭和電	104	[illegible]繊	55	日金工	62	三菱紙	—
東亜[illegible]	95	帝人	118	日セメ	128	北越紙	48
信越化	76	東洋レ	156	磐城セ	243	三井不	788
東高[illegible]	107	三菱レ	118	小野田	77	三菱倉	502
		倉レ	72	横浜ゴ	192	三井倉	90
				旭硝子	136	渋沢倉	115
				富士写	118	東洋埠	200
				小西六	103		

市況

小口の嫌気売続く

引続き重光訪米拒否問題による政局懸念で全般に気重く、市況は見送り人気のうちにも小口の嫌気投げが散見されて小甘いなり行きをたどるものが多い[illegible]ている、特定株は地合不良からマバラ売が続いてほとんど一、三円方小安く、雑株は買気全く引立たず大部分困散保合の域を出ないが三井不、東宝など二、三品薄株が小高いほかはマバラの売物に慨して一、三円方ジリ安をたどるものが多い

▽高い株=東宝十円、三井不四円、東洋糖、豊田織、鐘化三円

▽安い株=三越、三池合、火工品、精工、日鋼、磐セメ、宝幸水三円

内外抄

それッとばかり土人どもが攻め太鼓で重光外相の吊上げ。恥かしめられた外交にまた恥の上塗り。

◇

対日回答をドムニツキー氏に持たせたソ連、この坊やを一人前に仕立てるに苦労する親心。

◇

舞台は一転「分担金」の重光・アリソン会談となる。気の毒した埋合せにアメさん、大いにまけろ。

◇

双方の顔を立てた中労委案で炭労スト忽ち解決。炭坑がお先真っ暗では是非もない。

◇

黄綬褒章の表彰式には内助の功で妻も同席とする。こんどの鳩山さんの思いつきは上出来。

ないがい川柳 吉田朴司選

蝉のことばかり歸國者たずねられ 品川 蝸牛

飾くれた手ばかり降りる観光バス 千代田 南渡波

花の下キヤノンはさすが落つていず 船橋 稲村三久

巻舌の友をなだめる花の山 北 時田柳翠

女子レスの話を妻に叱られる 港 瀬谷蒼美

草に寝る肩と肩燃えている 葛飾 福田こうじ

女房のほかは月賦で皆光り 新宿 琴之助

浅草の鬼 (130)

浜本浩 作 / 栗林正幸 画

與太者(三)

さんばら髪の、狂犬のような男が、裏町の詰屋で二度も顔を合せた、隼の貫一だと解ると、梧郎は傲然と睨み返えし、

「そうだよ、旗野だよ。それがどうなんだ」と、詰め寄った。が、貫一は手を出そうとせず、

「おめえ、俺の事を誰にきいたい?」

暗い声で、ものうげにきく。

劇場の裏に、石炭殻を敷き詰めた空地がある。工場時代の材料置場であった。

梧郎は、そこへ貫一を誘い込んで、

「君は、勝治に居たことがあるだろう。梅子さんを、何処へ隠した?おいッ、云わんか?」

と、たゝみかけた。すると貫一は、うさん臭さげに梧郎の顔を覗きこみ、

「おめえ、梅子のおとこか?」と云った。

「仲間だよ。君が、梅子さんのアパートで出逢った夏川君も同じ仲間さ。梅子さんは、何処に居るんだ?え、何処に居るんだよ?」

梧郎は、必ずしもこの男が誘拐したものとは思っていなかった。執拗に追及するのは、別の思案があったからだ。

「ふざけるないッ」

貫一は憤然とうそぶいた。

「ところが、梅子さんは、君が現われた晩から、居なくなったんだぜ。警察でも、君を疑ってるんだよ」

「それが、どうして解った?」

「係の刑事に聞いたのさ。君がシロなら、ヤサをばらしてもいゝだろう」

居所を密告しようというのである。

「止してくれ。警察は鬼門だよ。」

なるほど、梅の事は、おめえの方が明るそうだ。他に心当りがあるだろう」

「あるさ。あっても、君にはバラさんよ。甲州の事があるものな」

「梅子から、聞いたとみえるな」

折柄、一陣のツムジ風が、埃を巻きあげて吹きすぎた。

「要件は、それだけだね?」

「うん」

貫一は、ぼろ外套の襟を掻き合せ、ぶるっと身ぶるいした。

「寒そうだな。どうだ、ちかづきのしるしに一杯やろうか」

「やりてえが、ボオガラと来やがらァ。白状するぜ。俺はタカリに来たんだよ、おめえに」

貫一は、そう云って、せゝら笑った。ボオガラは、懐中無一物ということである。

「図々しい野郎だなァ。仕様がないよ、僕が奢ろう」

が、酔狂でも物好きでもなく、梧郎は、雑魚で鯛を釣るつもりであった。

表通りの鮨屋なら、現金でなくても、顔のきく自信があった。初日の晩に、老優の仙昇が、そこの女中部屋へ這い込んだ店である。

「いらっしゃい旗野さん。奥があいてるわよ」

仙昇の相手をした女中が、愛想よく迎えてくれた。奥というのは、チャブ台一つの三畳であった。

梧郎が、酒と肴を注文している間に、貫一は内ポケットから、薄汚いハンカチを掴み出した。消毒もしない注射器と、二本のアンプルが、潜んでいるのだ。

「ヒロポンか?」

「ぜんそくの薬だよ。密造が一本十五円だぜ。あの晩もよ、こいつが切れたばかりに、つまり恥を忍んで梅子のアパートへやって行ったのよ。今晩も、おめえに廿本がとこ、たかるつもりで行ったさ、乞食だよ」

貫一は、せゝら笑いながら、左腕の袖をまくりあげる。

遊覧バス花の吉原へ

暮れにくれない歌舞伎座の引手茶屋、今宵ばかりは遊客の気分で大満悦

花のお江戸に花の吉原…その吉原が、古き時代のよき旧習として初めて遊覧バスのコースに登場した、といっても、ネオンきらめく特飲街の方ではない、大門近くに二百年来の看板を誇る名題の引手茶屋、いまは料亭と名を変えた「松葉屋」で、これも二百数十年来伝わる"吉原踊り"を公開しようとの趣向—これは都内唯一の定期観光バス路線をもつSバス会社が、二年前から走らせている"夜のお江戸遊覧コース"に新しく繰り入れたもので昔懐しい吉原情緒を大衆的に楽しませるとともに、目筋のかわった遊覧客を開拓しようとの試み、そこで、バスの走るにまかせて一夜吉原へ繰り込んでみた

引手茶屋に懐古の情

江戸吉原のゲイジュツ満喫　"マンザラ顔"のご婦人連

○…雨もよいというのに、夜の雨を賞でる風流人か、日程の詰った地方のお客さんか、東京駅降車口前の遊覧バス発着所は出発時間午後六時前にはもうズラリ、やがて口慣れたバス・ガイド嬢の名口調よろしく、神田—本郷—上野—浅草の第一コースへ、そのコースの行きついたところが、宵けはいのまだ浅い吉原だった　ガイド嬢さすがに照れくさそうではあったが、車内の表情もこのあたりから俄かに活気?を帯びて、目と目が忙しい

○…バスは松葉屋前に横付け待ち構えた番頭さん、仲居、芸者衆が「ようこそ…」と、手を取らんばかりのサービスぶりにこの遊覧悪くない…てな顔をブラ下げて、二階の大広間へ上る　芸が売り物という仲之町のキレイどころがこうズラリ並んだのでは、吉原の認識もまた一しお新た—と奇妙な感慨にふける

○…吉原ほうかんの生字引桜川忠七さんに聞いてみると「別に吉原踊りとか、吉原ばやしというきまった名前はないのですが、つまりは江戸時代の昔、吉原で遊ぶときまずこの引手茶屋に芸者をあげてドンチャカ騒ぐ、そういうお座敷騒ぎを伝えていったわけなんです、まァ気分的なものですが、この気分が捨て難い味わいのものですな」という話、舞台は半玉さん人の華やかなおはやし、一人は太鼓、一人は小鼓を二つ、一竜姐さんの三味、若手芸者の唄でにぎやかに繰りひろげられる、この半玉さん、どちらも新制中学の三年生である、続いて芸者衆の踊りであるが、正直にいって、この踊りと唄は、何というものであるのか判らない、差す手引く手の一つ一つに、ああ、お江戸の粋人は、かくの如きものを楽しんでいたのでアルか…と、懐古の情を偲べば、そこに何となく風流めいたものがわき起ってくる、それでよろしいのである、そのあとに続く忠七さんと若手ほうかんの演ずる珍芸もこれは同じ江戸趣味のゲイジュツであった

○…この夜の遊覧客にご婦人も五、六名席を連ねたが恐らくは生れてはじめての吉原見物、そして、こんな気分なら吉原もマンザラ悪くはないワ…と思ったかどうか、そこまでは知らない、とにかく、これだけの半玉、芸者、ほうかんをあげて騒ぐと、一万円は軽くかゝるのだそうである

その一万円のお遊びを"遊覧"すること約卅分、やがてバスは再び小雨の街を第二のコースへ—「皆様、古き吉原情緒はいかがでございましたでしょうか、さぞかしお心残りの方もおられることと存じますが…」微笑をふくんだガイド嬢の言葉の通り心残りな春の宵もあった

"吉原ばやし"は江戸時代をしのぶバチの音、出方の半玉さんが新制中学生とは、これも時代ですかナ

こうして踊って、むかしは遊客の気分を引立たせたものです、この一差しに山吹色の小判が飛んだわけ

"吉原遊びっていゝものネ"と仰有ったかどうか、とにかく、ご婦人も見惚れました

ほうかんの生字引忠七さん（左）の珍芸、題して"老いらくの道行き"だそうな

かくも盛大に見送られると、ちょッと一万円使った気持になれる、心残して「また来る日まで」

動物園春宵浮囃
どうぶつえん はるのうかればなし

—その2—　アシカの巻

至って安泰な"オトコ"の國
本領を発揮出來ぬ七匹の侍　雌でもいれば收拾つかず

○……茶目氣タップリ……○

動物園恒例の"春祭り"が始る坊ッちゃん嬢ちゃんに人気のあるのは、なんといってもスージー嬢とアシカの"ポチ"の芸…"オーバー・ザ・ウェーブ"のレコードが始まると「ハイ、東西東西」の口上よろしくアシカの"ポチ"がボールやキューピーさんを鼻の上に乗せてチョコンと立つ、パチ〱と坊ッちゃん嬢ちゃんは大喜び"ポチ"は真似してのッぺりしたヒレをペタペタと前で合せて拍手する、その様子がおかしいと子供達はどッと笑う、オデコでのッぺりした、黒色の"ポチ"は人気者だのッぺりした姿態、艶々した肌芸のこなしなど如何にも女体を思わせるが、実はこの"ポチ"は男性である、だから"ポチ君"とよぼう、ポチ君はカリフォルニヤの海岸生れ、昭和廿五年三歳のとき、上野動物園にもらわれてきた

○……"オヤジ"は島流し……○

ポチ君より一年遅れて動物園入りをしたアシカがいる、十歳のとき来たのだから、現在七匹いるが、身体は一番大きい、コイツがとんでもないヤツで、腕力のあるのにまかせて、同僚をいじめる、食事のときは「カオッカオッ」と暴れ回って、鯖や鯵など同僚の分まで食べてしまう、そのため同僚は食物もなく、すっかり痩せ細ってしまった、このギャングの名前は"オヤジ"という、無芸大食の"オヤジ"はその後「専横の振舞多く、改悛の情なし」として、不忍池横の水上動物園に島流しにされてしまった、いまでは、喧嘩相手もなく、たった一匹だけで「カオッカオッ」とヤケに暴れ回っている

○……雄雌七歳で同席す……○

アシカとオットセイは同じようなものだが、アシカは沿海の暖いところに住み、オットセイは遠海の寒いところに住む、アシカは利口者で芸がうまくサーカスなどでは役に立つが毛皮はオットセイほどよくない、相似点はアノ方が卓越していることで、これは人間共のうらやむところ、七歳にして性に目覚めるというから「男女七歳にして席同じうせず」という人間族と同じ、八歳ごろからその本領を発揮して、同性を撃退した英雄達は、その力の差に従って女性を十四から廿匹も引具し、六月から夏の末ごろまで、各々一ヵ月間ほど寝食を忘れてイトナミに没頭する、その壮観さ、うらやましきことは周知のとおりである、動物園に女のアシカがいないのは残念だが「いたら大変ですよ」と飼育係のオジサンがいっている、かの"オヤジ"も海洋にあっては男の中の男一匹として、さぞかし女達にもてはやされたであろう

○……ちょいと利口もの……○

イトナミのほか、特技はダイビングで、三間くらいの岩の上から飛び込む、アシカ族がオデコなのは脳が発達しているからで、ダイビングのとき水上にぶつけるからではない、海上に鼻先きだけをチョコンと出して魚のように見せかけ、鳥を引寄せてはガブリと噛みつくという利口さを持っている、ポチ君の芸は廿六年から仕込まれた、食事どきを利用して朝十時、午後二時の二回行われる、初めは台にヒレを乗せて立たせ、鼻の上をマリで押える、怒って噛みつく、また押える、押えさせた時に、好物の鯖をやる、という調子を繰返す、ポチ君は素質がいいから三ヵ月でマリの芸を覚えた

○……絶倫の彼は氣荒ら……○

精力絶倫というだけに気は相当荒い「ポチ君は可愛い」といっても、知らない人が近づけば噛みつくから危い、飼育係の山野辺さんでさえも噛まれたことがある、芸を仕込んでいる最中、山野辺さんがポチ君の意地試しに鯖をやらなかった、「俺が一生懸命やっているのにケシカラン」と怒ったポチ君は、後向きで煙草を吸っていた山野辺さんの腰にガブリと噛みついた、如何に怒ったにせよ足でなく腰部に噛みついたところがこの道の王者アシカらしい

モダン歳々記
蜀山人の春画説

文政六年四月六日、狂歌師蜀山人・太田南畝は七十四歳で浮世にサヨナラした。彼は幕臣で本名を直次郎といったが狂歌名は四方赤良、寝惚先生、山手馬鹿人といい、江戸末期の泰平時代に世間を洒落れのめして過したひとである。しかし性放逸な気儀者に似合わずなかなかの勉強家で、マメにいろいろな著述を残している。有名な漢文体南画入り枕本「大東閨語」に陳齎輪として序を書いている彼の枕絵の弁を繙こう。天明八年の序ある「俗事鼓吹」に曰く「枕絵に女の孔門を画かざるは西川祐信よりこのかた也と山岡明阿の話なり」とある。が、必ずしも春画に肛門描写がないとはいえない。ただ一般的にいって美化するため省略することが多いだけだ。文化十四年版の「南畝秀言」には「青藤山人路史にいわく、ある士人蔵書はなはだ多し」云々とあって、中国では春画を櫃中に入れておくと火事除けになるとあるだから我国で箪櫃に入れるのもこの伝だろうと述べている。文化十五年自叙の「奴師労之」には、西川祐信に私淑した小松屋百亀の春画作についてのべ、全七十巻の「一話一言」には上記の「南畝秀言」と「俗耳鼓吹」の説をのせている町学者南畝らしい面目がみられる。（鮭）

春の味
（や）（き）（蛤）

（俗に）「その手は桑名のやき蛤」という。その手はくわぬと、すてたセリフでなく、それならこちらでこういくよ、と意味深長である。貝は今がシュン、雛祭には蛤をそなえるし、名画"ヴィナスの誕生"は、貝殻に乗ってるし、われわれは、婦人のものと、貝の相似点を、異論なく認めている

（それ）もこれも、みなこれ貝の魅力のせいであろう。やき蛤には大粒がよい、まずウスイ刃物で蛤の蝶つがいをはずしておく。貝が焼けて口をあけない要心だ。折角の汁が吹き出るから強火は禁物適当な火かげんで焼すぎぬうちがウマイ。一方の貝殻で軽くすくって貝柱をこわさぬよう、そのまま口に入れる。

（プン）と磯の香りとともに舌上にとける風味はまさに野趣満々、白砂青松と春の海が忽然眼のまえにホーフツとする、花見に持参して、これを試みるのも一興です　品川居

え　島村舜児

あすの運勢
高島象山

＝四月六日＝

▲一月生—何事も静かに整然として稼業に努力して無事社交に注意
▲二月生—勇躍して発展の道を開く技倆を発揮して努力せよ旅行吉
▲三月生—万事に不意の障害を受け易い或はけがあやまち有り易い
▲四月生—万事塞り損失迷惑あり易い殊に身内の事で心配あるなり
▲五月生—何事も人気あり信用を増し利達栄昌あり上位の引立あり
▲六月生—物事相反し相違い失望損失あり細経をとがめることあり
▲七月生—自己の思い違いより失敗あり尽慢油断を殊に注意すべし
▲八月生—何事も順調に発展し利運あり社交的のことに人気あがる
▲九月生—思いもよらぬ難事を引き起すことあり慎重に進退すべし
▲十月生—内外共に不安起り気迷い心動いて自ら失敗を招く注意
▲十一月生—何事も融和向上し稼業繁昌あり就職転業は調い目的叶
▲十二月生—急變起り不安来り易い進退に注意し他意なく稼業守れ

風流世界譚
……（ソ連）……

謹厳なるアレスキー博士が、委員会からの命令で高校女子学生の性的な調査をする事になりました。そこで、種々の匿名に依る方法で、データーを集めましたが、それもかなり不確実で不安に思われたのです。特に性的衝動による反応というのが不確実なのではないかと思い、一つの計画を立てました。それは、馬の種つけの場面を学生に見学させ直後に調べようとしたわけです。これはかなりの成功で全部のデーターを集めて提出しました。ところが、しばらくすると委員会からの呼出しがあり、出頭すると、係官が「その馬の種ツケの際の学生は五十人でしたな」「そうです」「そのうち興奮した者が四十五人、異状のないものが三人というのですが、すると二人だけ数が合わないのですが?」「あゝ、それはついうっかり書きもらしてしまいまして、その二人はですな、つまり下ばきなしだったので証拠不十分というわけなんです」

ラジオとテレビ　5日（火）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ちえのポスト 柳内達生他 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 藤達 40 桜をめぐって上田嗣郎	10 話のびつくり箱小金治 15 スイート・コンサート 25 ドレミファ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 バンド・タイム	00 劇「ポツポちゃん」 20 時代劇「神変稲妻童子」 35 地方選挙特集
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 話の泉 堀内敬三 渡辺紳一郎 中屋健弌ほか	00 サンサーンス作曲 洋琴協奏曲第2番ほか 30 二・三男に開けたブラジルへの道 下元健吉	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 落語❶商売根問 小金治❷熊の皮 柳枝	00 録音ニュース 10 私の東京・僕のパリ 30 お国自慢のど自慢（中国大会の巻）笠置シヅ子	00 ラジオタ刊 20 新人歌手登竜門 30 日本春まつり「花のキューバ」宝とも子ほか
8	00 青空の仲間「発端の巻」牧野周一 榎本健一ほか 30 民謡をたずねて 黒田幸子 川崎滝雄ほか	05 教養特集 座談会「医学総会を終って」平沢興 木村廉 久留勝 北本治 司会・緒方富雄	00 渡辺弘とスターダスターズ ジエームス繁田 30 歌の風車 近江俊郎 楠トシエ 鈴木正夫ほか	00 家庭音楽会 司会・浅倉アナ 三味線豊吉ほか 30 連続講談「徳川家康」第四十五回 宝井馬琴	00 クイズ「また逢いましよう」歌奴 浜田百合子 30 報道特集「チヤーチル卿」石川欣一 松本俊一
9	05 ニュース解説平沢和重 15 劇「源義経」源氏日和の巻 岩井半四郎ほか 40 僕らは今日から一年生	00 音楽のおくりもの 聖譚曲「ダビデ王」オネツゲル作曲 柴田喜代子 岡部多喜子 木下保ほか	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎ほか 40 唄の四季「桜ずくし」春日とよ・とよ喜ほか	00 歌うバースデイプレゼント 楠トシエほか 30 落語❶出札口 古今亭今之輔❷開の扉 今輔	00 歌謡曲 青木はるみ 芸者バイヨンほか 30 五九童のワンダフルばあちやん 五九童 蝶子
10	15 世界のタンゴ集 40 芸術よもやま話 田村秋子 尾崎宏次	00 ❶初級国語 鳥山榛石❷上級解析 山崎三郎 45 気象通報	05 きようのニユースから 15 劇「新選組」木村功他 30 組曲「アルルの女」ほか	00 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅰ）戸田清	00 劇「南無三宝」小沢栄他 35 劇「緋牡丹記」渡辺美佐子 吉野寛 高橋真子
11	10 海外の話題 20 マジツク 川路柳虹作	05 宣伝広告の反省清水晶 20 医学総会から日比野進	10 第十四回日本医学総会より（京大にて録音）	00 探訪「才能教育の功罪」 30 座談会「原爆症」	15 夢のいざない 40 ある脱獄囚 鍋山貞親

テレビ　★NHKテレビ★ 6・00 漫画「ノアの箱船」 6・10 こどもスポーツクイズ 6・40 モダンバレエの見方 7・15 週間ニュース 7・30 ファイアストーン管弦楽団 8・00 劇「愛の鋪道」 8・30 ピアノ・室井摩耶子　★日本テレビ★ 6・00 劇「森の悲歌」 6・20 あわてるゲーム 6・50 カメラ探訪「薔玉尼」 7・30 浅草松竹演芸場から中継 曽我廼家五一郎一座ほか 9・10 日劇から「春まつり魅惑のリズム」宝とも子 旗照夫ほか　★KRテレビ★ 6・10 おばあさんと子供達 7・00 劇「花のある家」降夕美子ほか 7・30 しろうと寄席 司会・牧野周一 8・00 アンデルセン 百五十年祭 記念・映画「伝記」「錫の兵隊」ほか 9・10 シネマ予告編

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 滝沢修 8・05 名演奏家の時間 8・30 桜三題 笹部新太郎 9・45 青いノート 木崎豊 10・05 けさの話題小田善一 11・15 朗読「暖流」樫村治子	8・00 最近の結核研究 8・30 大作曲家の時間 9・15 ラジオ音楽国語教室 10・30 日本の音 山口藤助 11・15 此の頃の出来ごと 11・45 英文研究 萩原恭平	8・20 ラジオ・スケツチ 9・30 愛の小窓◇婦人経済 10・10 名作「おふくろ」 11・35 音楽のスーツケース 12・15 オトボケ探偵社 1・30 劇「雨の夜の話」	8・25 劇「青春のある所」 9・15 小説「第二の接吻」 10・40 劇「君ひとすじに」 11・35 連続劇「東京の人」 12・00 活動から映画へ 1・15 落語「花見酒」小円馬	7・35 放送論壇 三宅晴輝 8・10 お早ようブーちゃん 9・00 劇「サザエさん」 10・45 羊肉料理 北川敬三 11・00 連続劇「信子」 11・35 朗読「道草」高橋博

浪人街道（118）
木村荘十　野口昂明 画

紅燈（六）

唇之助の周馬を逃がすまいと眼の色を変えていた男は、佐吉の姿に気がつくと、

「ああ、佐吉親分、いいとこへ来て下さった。若旦那、さ、男らしく親分の前でハッキリした御返事を承りましょう」

食い下った。

「一体どうしたというんだね」

「貸の勘定のことでさァ。それもやり方がひど過ぎる。いかに佐久間の若旦那の周馬様だからって、そんな取込み詐欺みたいなことをなすったら御身分にかかわるだろうと思いますが…」

「おいおい、お前ェ何を云ってるんだ。周馬の若旦那とその方と、どういう関係があるんだ」

「えっ」

「寝呆けちゃァいけねェ。周馬様は、芝の山内で何者かに殺められて、現に俺は検死にも立会ったし、死骸の野辺送りもしているんだぜ。お前ェその話をきいたことがねェのか」

「はァ、そうでした」

「冗談じゃァねェぜ」

佐吉は、早く謝ってしまえと眼くばせした。

「へェ、しかし、こちらは周馬様では御座いませんので…」

「決ってるじゃねェか。死んだ周馬様が出てくりゃァ化物だぜ」

「はァ」

町人は、まだ疑うように唇之助を盗み見ていた。

「旦那、こいつはひっかけられた金の惜しさに、あなた様を見て少し気がおかしくなったらしゅう御座います。とんだ失礼を致しましたが、どうぞ御勘弁を」

佐吉は詫びながら、早く消えろと眼でうながす。

「どうも、とんだ御無礼を」

町人は、早々そこから逃げ出したものの、まだ諦めがつかぬと見えて、何度も何度も振り返っていた。

「御迷惑をおかけ致しました」

「いや…だが、借金取りとはいささか驚いたね。騒ぎ立てられると追放の身体なので困ったことになったと思ったが…」

「私も、あんなものが飛び出してくるとは思いませんでした」

「お前さんが来たんで助かった」

「あっしゃァね。さっきあなた様がもてあましたで御座いましょう、お仲って女です。あれを調べておりましたが、虫が知らせるとでもいうのか気になりましてね」

「あの女は、何かの役に立ったかな」

「へえ、お艶のことは相当詳しいようで、後でゆっくり調べるつもりです」

佐吉は唇之助を横町のそばやに連れ込んだ。その二階に綾が待っていた。

「御苦労様で…」

「いや」

「兄は、この辺の地廻り同様だったそうで御座いますから、さぞ、みんなが驚きましたでしょう」

「はァ、女が一人、男が一人」

唇之助は、軽く答えて詳しいことは云わなかった。

綾の周馬に対する気持を察して、周馬の乱れていた行状のことは聞かせたくなかったのである。

その時、そばやのおかみが、階段を駈けあがって来て、

「佐吉親分、大変だ。殺しだよ。たった今、矢場の女が一人、吹き矢で殺されたって騒いでいるよ」

と叫んだ。

獄房の平沢は語る
まさに英雄的陶酔境
"私が虐殺されて裁判所は笑いもの"

◇さて当の平沢自身は、これらの談話をどんな気持で受け取ったか？　小菅拘置所の一坪ほどの面会所一七七号室で相対すると、茶のゴバンジマの着物に羽織姿の平沢は、眼をショボショボさせて「私が犯人じゃないと頑張って下さる山田弁護士や竹内さんには手を合わせたいくらいです、安達課長は、真犯人がいるならもっと早くというが、それを探してくれている人は、本当に好意でやってくれているので、警察のような力はない、それでもいま、北沢に住む医師岩沢亮氏の調べてくれている犯人がもっとも事実性があり、これに望みをかけています、裁判所には今朝上申書を送ったところです　昨夜の夕食のカレーライスが具って痔が痛む」と苦笑しながら、ついこのあいだ黄疸にかかったときは、シジミ汁だけでなおしたということだ

◇「私は虐殺されるんですよ」と急に声が改まり「犠牲になれというならなりましょう、これは平沢一個の問題ではなく、民衆のために命を捨てるんですからねえ、しかし世界が注目しているこの事件で、私が死刑になれば、物笑いになるのは裁判官の方ですよ、それが気の毒だと思うから何度も注意してやっているんだが」裁くのは自分の方だといわんばかりの自信の色が、近頃めっきり白髪が増え、頬のこけた顔のあたりをひきしめる、一種の英雄的な陶酔感にひたった肩のはり方で、声はすこぶる落着きはらったもの「自由法曹団からも北海道の高木検事宛に、平沢を救ったらどうかと手紙を出してくれましたが有難いことです」宗教的な信念も一面にはあるようだ

◇質問を転じて所内の生活ぶりをあわせて聞くと、何よりもの楽しみはテンペラ画の執筆で、一番辛いのはコーヒーが飲めないということ、近く画集を出す計画も立てているという「私は所内では、まだ一度も規則を破ったことはないですよ、他の房内の人ともまったくつきあいはないですが、彼等は駄目でねえ、どうやって持ち込んで来るのかみんな煙草を吸っていてねえ」新しい心境だといって「闇の夜を厚くおおえる雲の間に、清く輝く秋の夜の月」と、一首ものしてくれた

帝銀最高裁の断
あすの判決を見守る人々

犯罪史上稀に見る残虐なる毒殺魔"帝銀事件"の最終判決は、いよいよ明六日最高裁の法廷でいい渡されることになった、弁論なしで行われるため死刑はほぼ確定的といわれているが、足かけ八年の歳月を費しあらゆる角度、あらゆる面から検討されながらなお当の平沢被告は無罪を主張しつづけているという世紀の大事件だけに世の注目はもちろんのこと、当時の事件関係者の眼はとりわけ万感の思いをこめて明日の判決の結果に注がれている、そこでこれらの人たちの中から特に何人かを選んで最後の感想を聞かせてもらい、その録音箱を携えて小菅拘置所の金網越しに平沢被告と面会してみた（山）

平沢貞通

今でも無實を信ず　山田弁護人

山田弁護人

「死刑の判決が確定したとしても書類の上では再審願いを出し、最後までやるよ、私も数日前から神経痛で悩んでいるが法廷には無理を押してでも出るつもりだ、しかし裁判所もひどいと思う、三年近くも放りばなしておいて判決を言渡すからと通知してきたのが、つい一週間前のことなんだから、もう大詰だからこんなことをいうんだが、だいたいね、私個人としては平沢なんて大嫌いなんだ、あんな虚栄心の強い嫌な男はないからね、しかしこと事件に関する限り、彼は絶対に犯人じゃない、あの事件はかつて毒殺の前歴のある緻密な才能を持ったアプレの者にしかできない犯罪で、彼のようにその場の気まぐれで、自白したり、取消したりする一種の気弱な精神異常者のやれることじゃない、これはいまでも確信している」と自信に充ちた眼差しが天井をにらんだ

黒白は裁判まかせ
神ならぬ身　百パーセントの証拠は出ぬ
安達捜査一課長　当時の捜査二係長

安達捜査一課長

当時の捜査本部の花形だった居木井警部（現捜査一課二係長）「重大な判決を前にして、一警部の身で何もいえない」の一点張りだったが安達課長は次のように語った「為すことを為せりという感じだな　我々は一捜査官なんだから、後はすべて裁判の方におまかせして、黒か白か決った裁定に服するよ、といってたとえ、平沢が一審、二審の判決通り死刑だとしても、それ見ろという気にはならない、ただ彼は盛んに真犯人が他にいるようなことをいっているが、それならなぜもっと早く反証をあげないのか、世間では、平沢が百㌫黒ではないということに、何か割りきれないものを感じているらしいが、われわれは神さまじゃない、九十八㌫まで証拠があがればそれで人間としての最善を尽したと思わなけりゃ、いままでだって犯罪者の殆んどは、自分が無実だといってるものが多いんだ」

未だに残る疑問
当時の生存者　竹内正子さん

生存者竹内さん

一度に十六人もの生命が失われたあの事件の際、奇蹟的にも助った四人の銀行員のうちの一人だがいまでは読売紙の竹内記者と結婚して幸福な生活を送っており、もう五つの坊やのお母さんだ、練馬区下石神井のアパートに訪ねると美しい顔がわずかに曇って「私はいまでもあのときの犯人は平沢じゃないと思っています　私の目撃した印象はどうしてもあの人に似てないんだからほんとにお気の毒です」と、平沢無罪説の一人、その平沢からも一、二度切々と無実を訴える手紙が来たらしいが「でも、読む気にはなりませんでした、人間的な点ではなにか好感が持てなくて…もし、そうでなかったら、もっと切実になってたでしょうけど、いまは坊やのことで頭がいっぱいで…」と、いささか傍観的、生き残り組の中ではもう一人の女性、阿久沢芳子さんもとうに結婚生活に入って、現在銀行に勤めているのは、当時支店長代理だった吉田竹次郎氏と出納係りの田中徳和氏の二人だけとのこと

あいまいさに残る疑惑
探偵作家　山田風太郎氏

山田風太郎氏

最後に一般的な意見として、下山事件の際も、独自な立場から実験作を発表して問題をなげかけ、帝銀事件の熱心な研究家でもある氏に感想を求めると「僕は平沢が誰一人として好感を持たれないという性格に興味を感ずる、それは逆にいえば彼の善良さを証明するもので、あんな犯罪を犯した人間とは思えないような気がするからだ、しかし事がここまで来たにも拘らずいまだに問題の金の出場所についてアイマイなのは疑われても仕方がないのではないか」と、さすがに作家的な逆説の批判ぶりをチョッピリ

情婦にして売飛す
田舎娘の敵　歯科医ら六名検挙

主犯倉橋繁雄

杉並署では五日朝までに東京に憧れて地方から出てくる田舎出の少女達を狙って、情婦にしてから馴れ合いで芸妓置屋や小料理屋に斡旋したのち因縁をつけて金品を脅し取っていた中野区大和町一八〇歯科医倉橋繁雄を主犯とする一味の六名を恐喝、職安法違反などの疑いでそれぞれ検挙した

一味は倉橋をはじめ同町一二八無職大島忠雄同番地同鈴木片春同区上高田一の一三五同中島万吉杉並区高円寺四の四三〇同浅野忠雄住所不定無職広瀬酉次郎ら六名で主犯の倉橋は看板をかかげた"町の歯科医"でありながらバクチの前科もある悪質な開業医で、アルバイトに浅野と家屋の斡旋も行っていたが、昨年十一月初め中野区道玄町芸妓置屋「春の屋」＝経営者元木はるさん＝に斡旋した住宅の謝礼金が不足だと再三はるさん方に押しかけて因縁をつけ「十万円出さねば何をするか判らぬ」と同月十七日現金一万円を脅し取った

このほか浅野、鈴木らは新宿駅付近に常に網を張って地方出の少女たちをだます不良グループで手当り次第に少女たちを情婦にしていたが、金に困って共謀、昨年十一月中旬ごろ浅野の情婦だった小林はる子さん＝仮名＝を一味の広瀬が元木さん方に芸妓に斡旋多額のリベートをもらったが、その額が足らぬと同月下旬ごろ揃って押しかけ「はる子は俺の女だ」と浅野が脅し手切金と称して現金三万円を脅し取ったほか、一味は同様手口で中野、杉並方面の芸妓置屋、小料理屋などを荒し被害総額は判っただけでも廿数件約五十万円に上っている

きょうから一年生
おテテひかれニコニコ

きょうからボクは一年生…と今五日はよい子のうれしい入学日　降り続いた雨もカラリと晴れ、桜も満開、やっとやって来た春が子供達の前途を祝福するかのようだ、都内の小学校はいずれも朝から入学式を行ったが、世田谷区立桜小学校では着飾ったお母さんに連れられた新入生は真新しいランドセルを嬉しそうに背負って真剣な顔、満開の桜の木の下で校長先生のお話に聞き入っていた【写真は校庭に咲くサクラの下に列んだ小学一年生】

エムさん　124　石川進介

どけよっ　スウズウしいねっ
ありゃー　さっきのは女だ　おしいことをした
あれ！こどしは女のよっぱらいがヨケいね
目ざめてしっつのに…
あー酔ったなあー
チエッ

下腹部切られて発見
変質者か　消えた自殺娘の死体

【千葉発】埋葬したはずの若い女の自殺死体が、引取人がきた時にコツ然として消えていたという推理小説を地でいく事件について、千葉署で捜査の結果、五日朝死体は埋葬場所付近の草むらに下腹部を刃物でえぐりとられ、放置されていたのを発見した、同署では付近に住む変質者の仕業とみて、小貫刑事部長以下が現地におもむき犯人捜査を進めているが、犯行当日前後は連日の雨で、証拠品となるものは残らず、捜査は困難をきわめている

なお自殺した中谷由利子さんは、香川県小豆郡渕崎村渕崎中谷茂さんの三女で去る廿五年上京、墨田区千歳町二の一三鉄工場主武部兵一さん方で女中として働いていたが、去月廿九日武部さん方を家出、同家の雇人田中照雄さんから捜索願が出されていた

宮城の長女殺し自首

さる二日宮城県吉田署から殺人容疑で指名手配中の宮城県黒川郡大衡村駒場日東鉱山雑役夫原和雄は四日夜上野署に「娘を殺した」と自首した　調べによると原はさる二日朝七時ごろ自宅六畳で長女孝子ちゃんを扼殺したもの

追突して米兵二名負傷

五日午前一時五十分ごろ杉並区上高田一の一三先甲州街道で停車していた豊島区要町一の一九工場主島口常松さん所有のトラックに新宿方面からきた府中米空軍基地勤務マーチン軍曹の運転する乗用車が追突約六㍍はしって付近の垣根に突っこみ乗用車は大破して停車した、このためマーチン軍曹と同乗していたパテン一等兵の二人は顔、足などにそれぞれ二週間の傷を負った、高井戸署の調べではマーチン軍曹のスピード違反から

新婚旅行で焼死　函館の火事

【函館発】四日夜十一時廿分ごろ函館市湯ノ川湯泉街湯ノ浜三五湯ノ浜ホテル女中部屋から出火、同ホテルと藤ノ湯旅館計二棟四百五十坪を全焼、…いた、湯ノ…森市米町七…牧子さん…五日午前五…て発見され…

高圧線にふれ死亡

五日午前十一時ごろ目白よりに…池袋一の五…号機のペンキ…良平次さん…線にふれ転落…院に収容され…た

空巣で二百五十万
著名人宅専門の賊挙る

原宿署では四日夜茨城県生れ住所不定無職角谷秀夫こと松平国則を窃盗容疑で逮捕した、調べでは松平はさる二日夜五時ごろ、港区芝愛宕町一の一九貴金属商玉屋商会社長西井藤太郎さん方に空巣に入り、横山大観画伯の千鳥の図掛軸一本他毛皮オーバー一、真珠首飾り百二個など貴金属数十点百五十万円相当を盗んだのを初め著名人宅を空巣専門に荒し回り、自供しただけでも廿数件約二百五十万円を盗んでいたもの、余罪追及中

中、高校生の万引団
デパート荒し16名捕る

…日までに墨田区の…織された万引グル…した、グループは…生少年Aを主…した中学三年生、高校三年生ばかりの飲食店など中流家庭の少年達十六名でAがたまたま万引を働いたところ成功したので仲間を誘い卒業を控えてうわついていた級友がこれに加わり四、五名ずつのグループにわかれ、さる一月十一日午後五時ごろ台東区浅草雷門二ノ二三マルベルド＝経営者三沢正治さん＝方で市川和子など女優のブロマイド廿二枚を万引したのを始め一月ごろから松坂屋、松屋、高島屋、大丸などのデパートを主に「流行ジャズ大全集」「空手極意教書」「花嫁はどこにいる」などの本や、靴、ハーモニカなど四十件二万数千円の万引を働き、万引のスリルを楽しんでいた

房総に臨時列車

国鉄は春の行楽シーズン迎え成田、水郷など内房総方面に十七日から六月五日までの毎休日上下各二本の臨時デーゼルカー及び廿日から一ヵ月両国—館山に臨時列車各一本、また上越国境方面の週末旅行客のため九日から六月廿五日までの毎土曜上野—越後湯沢間に上下各一本の快走電車を増発する

アパート空巣で二百万円

淀橋署では五日朝住所不定無職前科一犯森三郎を窃盗容疑で送検した、調べでは森は昨年十二月廿一日夕方新宿区百人町四の四二〇公務員アパートTH四一〇号内運輸技官高橋嘉彦さん方に樋伝いに侵入、女物訪問着など十六点六万円相当を盗み出したほか新宿、中野、大田各区のアパートばかり専門に卅件約二百万円の空巣を働いていたもの、森はさる九日新宿区百人町四の四四〇公務員アパートRH三一〇号の樋から落ち左足をくじいて病院に入院、淀橋署員に逮捕されたが、さる二月九日係官のスキをみて逃走していた

電車にハネらる

五日朝九時十分ごろ渋谷区笹塚一ノ一五三秋本金物店々員水口政好さんはリヤカーに釘樽をつんで自転車で同区代々木新町代々木署前京王線初台五号踏切を横断しようとした際府中発上り電車にはねられ、頭、額、腕などに全治二ヵ月の重傷

線路に轉落

五日午前零時五分ごろ国電高円寺駅ホームで東京発立川行下り中央線電車＝緒方正広車掌＝に乗ろうとした立川市富士見町一の一〇人夫大賀伝五郎さんはオーバーの裾をドアーにはさまれ、約四十㍍ひきずられて線路に転落、付近の病院に収容されたが左足骨折で瀕死の重傷

あすのスポーツ

△プロ野球　巨人対国鉄（二時、後楽園）毎日対東映（二時、川崎）高橋対阪急（二時半、駒沢）△全国選抜高校野球（甲子園）△学生野球高校の部（十時、神宮）都社会人春季大会（十時、後楽園）△競馬　浦和（零時半）

独眼灯

○…追剥が女の先生にミソつけて逆襲された話

○…五日朝四時半ごろ北区岩淵町二の七八先を帰宅途中の同町二七五稲付中学教員玉川征子さんを後からつけてきた卅歳ぐらい五尺一、二寸の男が襲い南京袋と六百円在中のハンドバッグを奪われた

○…気丈な征子さんは「なにをするんです」と賊のマフラーをギュッと奪って抵抗したので賊はこれは手強いと奪ったものも放りスタコラ逃走

○…戦利品のマフラーを届けられた赤羽署では同五時五十分ごろ同区志茂町一の二七先をうろついていた男を職質し証拠のマフラーを突きつけたところ、恐れ入りましたと犯行を自供—この男足立区南宮城町一〇工員鈴木富悦で「花見の酒代をと思ってやったが、あんな強い女ははじめて」とボヤいていた

ふし穴

▽二日の対中日第一戦に投げた国鉄スワローズの"新婚投手"金田正一クン、左手くすり指にピカピカ光るエンゲージリングが話題になったが、ヒカリモノを身につけては野球規則に反するとお叱言をくって、リングはとりはずしになった、いかにも"坊や"金田らしい話、野球選手と指といえばこんな秘話がある

パ・リーグT球団にいたH選手が関西某大実業家の二号さんとアツアツ以上、つまり旦那然とふるまってることは知る人ぞ知ることだという、その二号さんには一人の娘があり、H選手の球友O選手は姉、M選手は妹と、それぞれ恋仲になった、ある時M選手がO選手の恋人である姉にいたずらをしたので、O選手は大いに怒り、かつハンモンした、昨シーズン強打者であるO選手の意外な不振の根因はコレだったらしい、一方M選手は身持ち悪く、九州でゴタゴタが起り、挙句の果に左小指をつめねばならぬことに追いつめられ、ついに小指を斬った、監督は怒ってM選手をクビにした、M選手は行きどころなく、T球団のH選手に泣きついて、やっと入団させてもらった、M選手はさきほど、かねての恋人、例の二号さんの妹娘と結婚したので、ある消息通はH選手とM選手を評して"親子野球"といった、つまりH選手とM選手は"親子"で同チームでプレーしているという意味らしい、これも指を斬ったため なのだが、大切な指を斬った野球選手など、同じ指の話題でも金田の場合とくらべて、いただけなさすぎよう

新流行"ギャバンがね"

▽「現金に手を出すな」というフランスのギャング映画で、乳房の馬鹿でかいナイトクラブの女の背後から、ギャバンのギャングが「重くねえか、手をかしてやろうか」と冗談まじりに両手で乳房にさわるシーンがある、最近この手を高校生が悪用「ギャバンがね、こうやってね…」と女生徒の乳房に"合法的"にさわるのが流行してるとか、女生徒は"乳房に手を出すな"と、ギャバンの話が出たらご用心

▽"春のツユ"の上、冨山、水戸には雪が降る季節なのに、早くも浴衣サービスの銘打ったカフェーが新橋烏森に出現した、浴衣一枚でフルエながら客を呼んでる A店のKマネジャーにきくと「とにかく奇抜なことをやらぬと、デフレは乗切れませんや、おかげで物好きな客がレインコート姿でだいぶ…」とニヤリ（黄）

【写真は浴衣サービスの店】